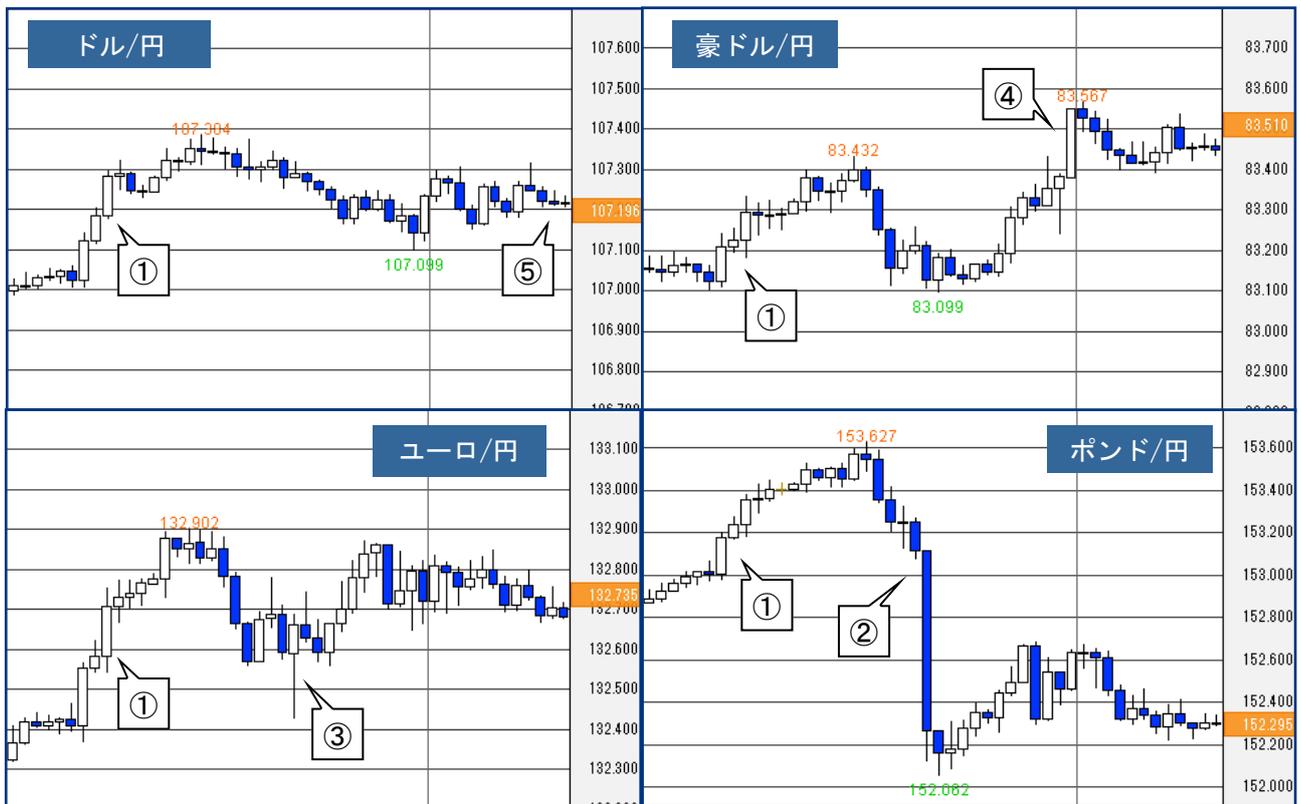


4月19日(木曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## 日米首脳会談を無難に通過

### 18日(水)の為替相場



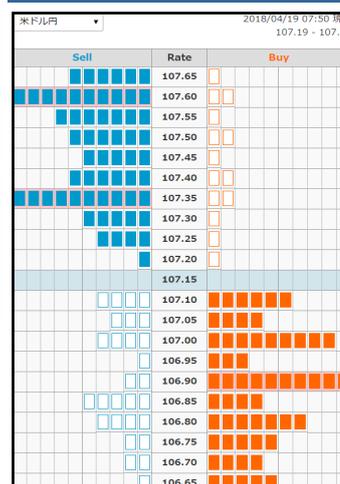
期間：18日(水)午前6時10分～19日(木)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① ポンペオ次期米 국무長官がイースターの週末に北朝鮮を訪れ、金正恩朝鮮労働党委員長と会談していた事が明らかになると、朝鮮半島の非核化などの思惑からリスク・オフの流れが強まった。日本株をはじめとするアジア諸国の株価が上昇する中、ドル/円やクロス円が上昇した。
- ② 英3月消費者物価指数は前月比+0.1%、前年比+2.5%と市場予想(+0.3%、+2.7%)を下回り、前回(+0.4%、+2.7%)から減速。英3月生産者物価指数は前年比+2.4%と予想(+2.3%)を上回ったが、英3月小売物価指数は前年比+3.3%と予想(+3.5%)を下回った。前日に12-2月週平均賃金の伸びが予想に届かなかった事も相まって英中銀(BOE)による5月利上げ観測が後退すると、ポンド売りが激化した。
- ③ ユーロ圏3月消費者物価指数(HICP)・確報値は前年比+1.3%に下方修正(速報値+1.4%)された。これを受けて、一時ユーロが売られた。
- ④ 米エネルギー情報局(EIA)の在庫統計後にNY原油先物が68ドル台へ上昇。資源国通貨が買われる流れの中で豪ドル/円にも上昇圧力がかかった。
- ⑤ 米NY連銀のダドリー総裁は講演で「関税戦争は悲惨な結果を招く事になる」「貿易戦争で勝算があるとは考えていない」と述べた。また、米連邦準備制度理事会(FRB)のクオールズ副議長は別の講演で「現在の利回り曲線フラット化(長短金利差縮小)は景気後退シグナルではない」との見解を示した。

18日(水)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22158.2 △310.61	5861.421 △19.874	3091.399 △24.602	7317.34 △91.29	12590.83 △5.26
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24748.07 ▼38.56	0.0380% ▼0.0070	2.748% ▼0.015	1.414% ▼0.021	0.531% △0.024
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.4293% △0.0353	2.8728% △0.0443	68.47 △1.95	1353.50 △4.00	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	106.700-107.900	132.100-133.500	83.100-84.100	151.500-153.000

【ドル/円】

昨日のドル/円は、概ね107円台前半でもみ合う展開。日米首脳会談待ちで方向感は出なかった。今朝方行われた共同記者会見では、トランプ米大統領から「日本との間に巨額の貿易赤字」「環太平洋パートナーシップ協定(TPP)に復帰望まず」「2国間協定が望ましい」などと、やや気になる発言はあったがそれ以上の強硬発言は聞かれなかった。首脳会談を無難に乗り切った事で、ひとまず円高圧力は後退しそう。本日のドル/円は、材料面に注目すべき点は少ないが、主要国の株価が堅調を維持すれば107円台後半のレジスタンスの突破を試す展開もあり得るだろう。なお、日足一目均衡表の雲下限(106.919円)や20日移動平均線(執筆時106.634円)はサポート水準として意識されそう。

執筆者: 神田

本日から明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
4/19(木)	10:30	◎	(豪) 3月就業者数	+1.75万人	+2.00万人
	10:30	◎	(豪) 3月失業率	5.6%	5.5%
	17:30		(英) 3月小売売上高(自動車燃料含む:前月比)	+0.8%	-0.6%
	21:00	○	(米) ブレイナードFRB理事、講演	-	-
	21:30	○	(米) 新規失業保険申請件数	23.3万件	23.0万件
	21:30		(米) 4月フィラデルフィア連銀製造業指数	22.3	21.0
	22:30		(米) クオールズFRB副議長、講演	-	-
	23:00		(米) 3月景気先行指数(前月比)	+0.6%	+0.3%
	25:30	○	(英) カンリフBOE副総裁、講演	-	-
4/20(金)	08:30		(日) 3月全国消費者物価指数(前年比)	+1.5%	+1.1%
	08:30		(日) 3月全国消費者物価指数(生鮮食品除く:前年比)	+1.0%	+0.9%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。